

## 洗髪器用サーモスタット シャワー金具

# TOTO

## ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO洗髪器用サーモスタットシャワー金具をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みの上、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

### もくじ

安全上の注意	1～2
特長・各部のなまえ	3～4
つかいかた	5～6
使用上の注意	6～8
凍結予防のしかた	8
ストレーナの掃除	9
温度調節のしかた	10～11
手入れのしかた	11
故障したときは	12

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



**0120-03-1010**

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

# 安全のために必ずお守りください

ご使用前の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

## ⚠ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

## ⚠ 注意

- (1) 水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。  
やけどをすおそれがあります。
- (2) 熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。  
直接肌を触れないでください。  
やけどをすおそれがあります。(カラン付)
- (3) 使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40°C以下に戻しておいてください。  
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをすおそれがあります。
- (4) 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。  
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをすおそれがあります。

- (5) ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。  
高温の湯が出てやけどをすおそれがあります。

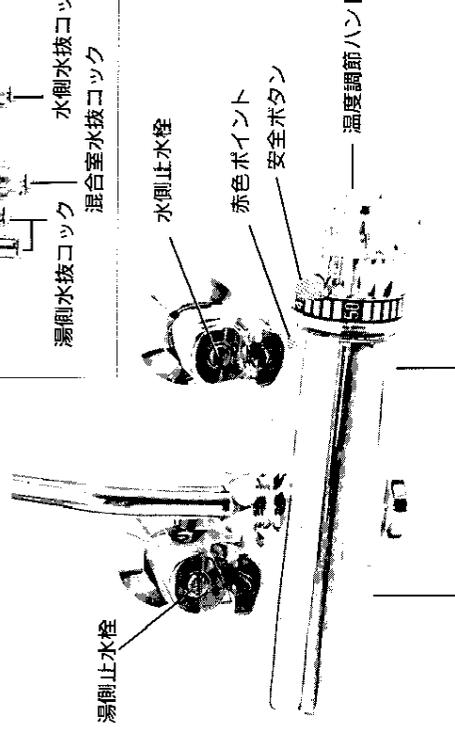
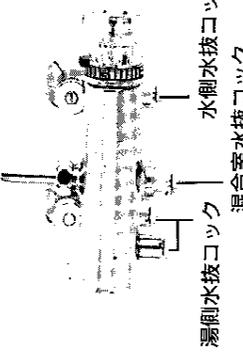
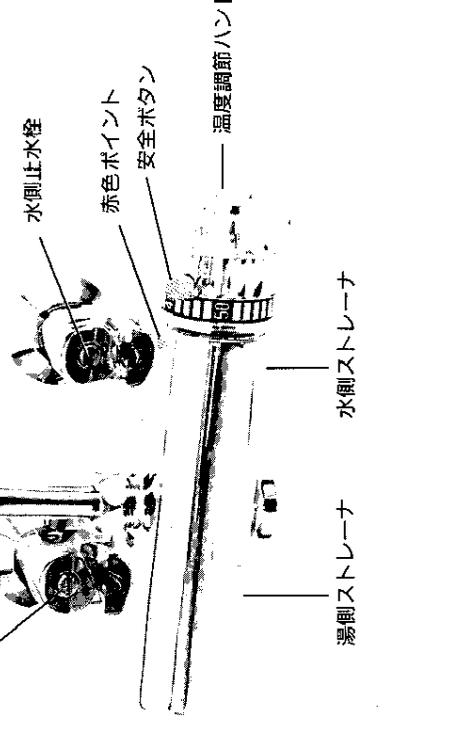
- (6) 温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。  
やけどをすおそれがあります。

- (7) 凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

- (8) ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。  
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

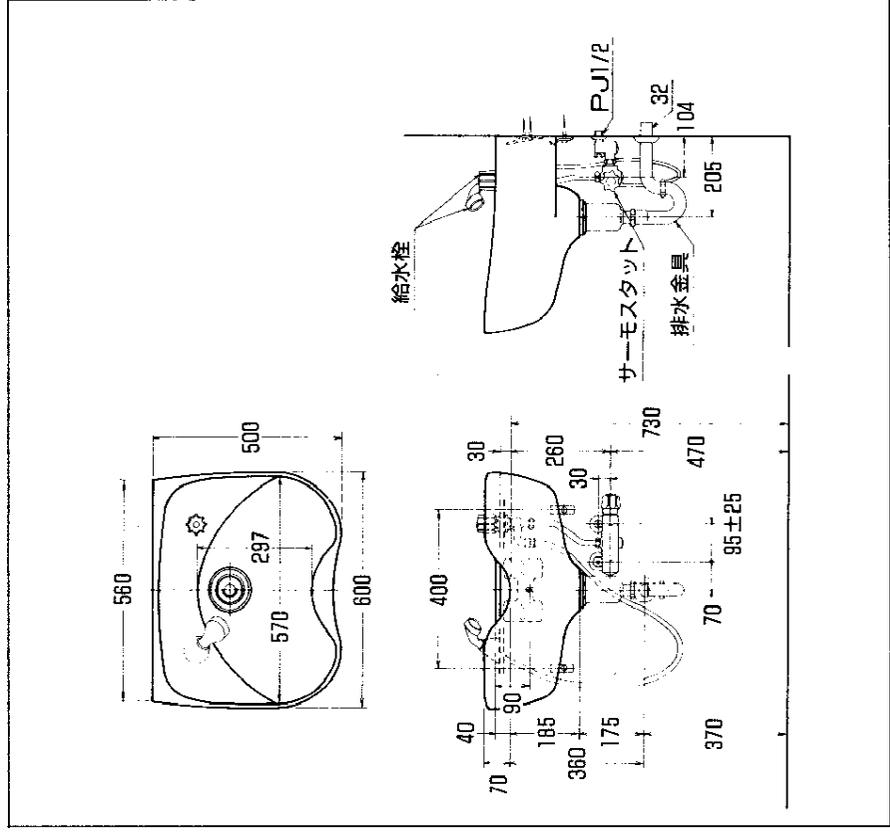
# 特長・各部のなまえ

1. 混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても温度変化はありません。
2. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。
3. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。

<p><b>一般用</b> TK345C</p>  <p>湯側止水栓 水側ストレーナ 水側ストレーナ</p>	<p><b>寒冷地用</b> TK345CRZ</p>  <p>湯側水抜コック 水側水抜コック 混合室水抜コック</p>				
 <p>湯側止水栓 赤色ポイント 安全ボタン 温度調節ハンドル 水側ストレーナ</p>					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>付属部品</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレーナ開閉工具</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		付属部品	数	ストレーナ開閉工具	1
付属部品	数				
ストレーナ開閉工具	1				

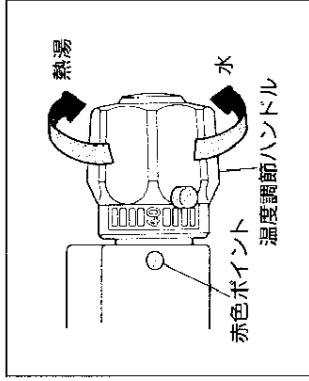
4. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので誤って熱湯を出すことはありません。
5. 圧力調整や内部の分解・清掃に便利な、止水栓を設けています。
6. 寒冷地用は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

## セット状態図



# つかいかた

## 1. 温度調節



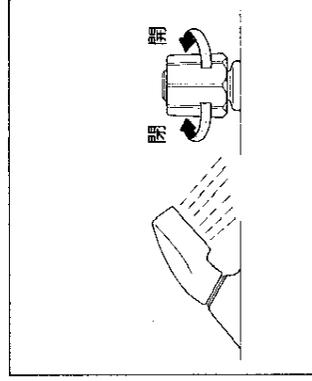
温度調節ハンドルを回してお望みのダイヤルを赤色ポインタに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。

## 2. 安全ボタン



温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛「40」付近でロックされますのでこれより高温で吐水させたいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻しておいてください。

## 3. シャワー吐水と止水



(a) シャワー吐水  
給水栓のハンドルを左へ回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量が最大になります。  
(b) 止水  
お湯を止めたいときは、給水栓のハンドルを右へ一杯に回してください。

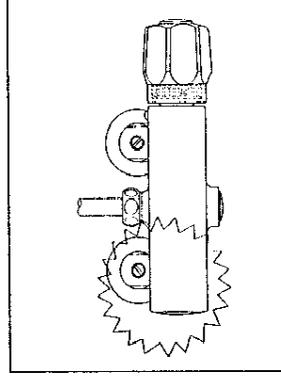
## 給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

1. 給水栓のハンドルは全開でご使用ください。
2. 湯沸器の温度調節つまみを(高)の位置にし、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
3. 適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

# 使用上の注意

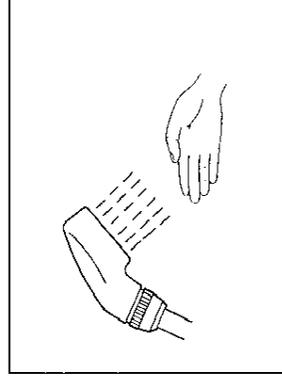
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

## 1. 火傷に注意



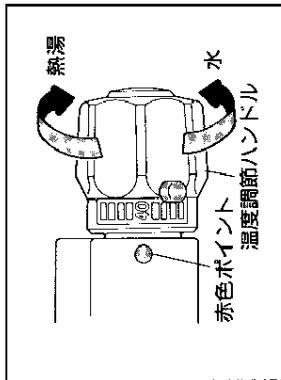
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金属の表面に直接肌をふれないようにご注意ください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、高温の残水を流しておいてください。

## 2. 使用前に湯温を確かめる



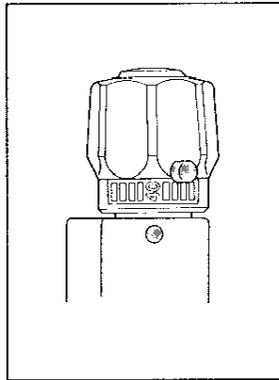
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

### 3. 温度調節ハンドルはゆっくり回す



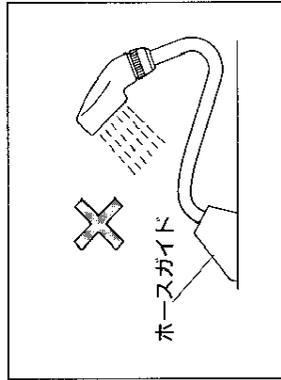
温度調節ハンドルは、ゆっくり回して下さい。急に回しますと温度があがり過ぎる場合があります。

### 4. 温度調節ハンドルは“40”以下にする



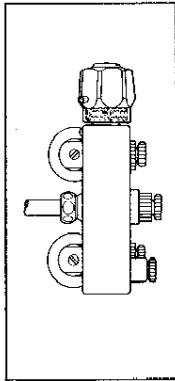
熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻して下さい。(これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

### 5. ホースガイドに水をかけない



ホースガイドやホースに水がかかると、ホースを伝って水が洗髪器の下にたれ落ちることがありますのでご注意ください。

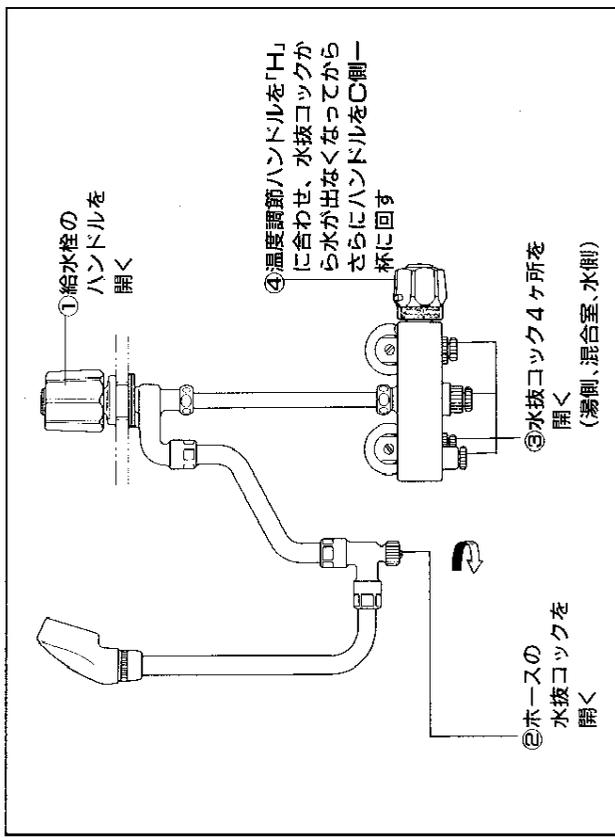
### 6. 凍結すると少しの間吐水しません(寒冷地用の場合)



凍結した場合、水抜きを行ってもストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合がありますのでそのときは、ぬるま湯であたためてください。

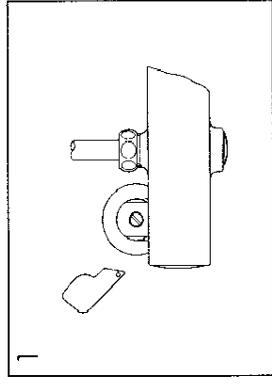
## 凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、水抜栓の操作とあわせて下図の番号順に操作し器具内の水抜きをしてください。なお同封の「水抜き方法」のラベルは、器具の近くに貼付しておいてください。

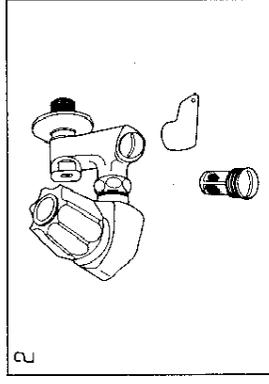


## ストレーナの掃除

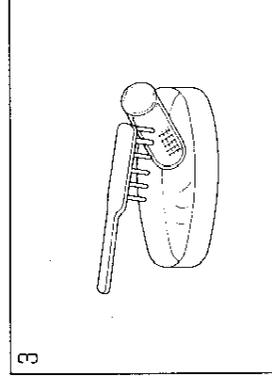
ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるとなると十分な機能が発揮されなくなりますのでとぎどぎ次の要領でストレーナを掃除してください。



付属の開閉工具で止水栓を閉じてください。



開閉工具を溝に差し込み、ストレーナをゆるめてください。



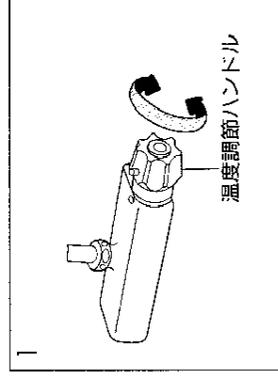
ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取り除いてください。

## 温度調節のしかた

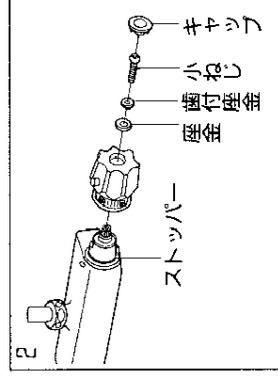
ダイヤル通りのお湯が出なくなった場合は、次の要領で温度調節をしてください。

●調節する前に

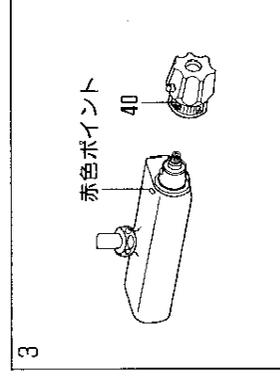
- a) ストレーナのごみづまりはないか確かめる。
- b) 止水栓が全開しているか確かめる。
- c) 十分な温度(使用する温度より10°C以上)のお湯がきているか確かめる。



給水栓のハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に關係なく40°Cのお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



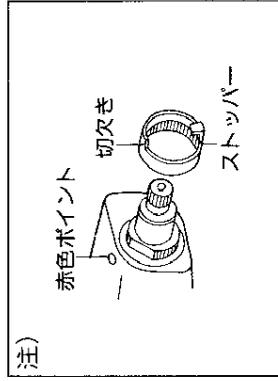
温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。



温度調節ハンドルの“40”の文字と赤色ポイントを合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。

## 故障したときは

温度調節ハンドルを抜きとるとき、ストッパーがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。



故障の修理はお取付工事店か役所の指定工事店にご依頼ください。指定工事店がどこにあるかわからないときは、役所の水道担当窓口にご相談ください。なお不明な点がございましたらお客様相談室にお問い合わせください。

## 修理を依頼される前に

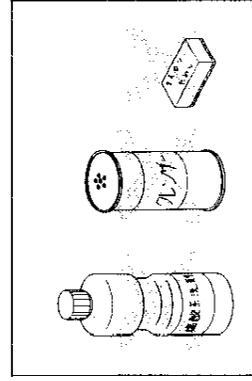
簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検箇所	点検項目
吐水量が少ない	① ②	
高温しか出ない	① ② ③	① 止水栓は全開されているか ② ストレーナーのこみづまりはないか ③ 温度調節は適当か
低温しか出ない	① ② ③	
ダイヤルどおりのお湯が出ない	① ② ③	

※点検方法は「ストレーナーの掃除」、「温度調節のしかた」の項を参照ください。

## 手入れのしかた

めっさされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーフックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときはすぐに器具を水洗いしてください。